

第 64 回

高知市文化祭

報告書

〔平成 24 年度〕



第 64 回高知市展オープニングセレモニー（平成 24 年 5 月 26 日 / かるぼーと）

高知市文化祭執行委員会

目 次

高知市文化祭執行委員名簿	2
高知市文化祭主催行事	3
高知市文化祭参加行事数・入場者数	6
参加行事報告	
映像部門参加行事	7
演劇部門参加行事	8
音楽部門参加行事	10
舞踊部門参加行事	14
展示部門参加行事	15
文芸部門参加行事	16
その他の参加行事	17

第64回高知市文化祭執行委員会

区 分	氏 名	備 考	
芸 術 文 化 部 門	映 画	坂 本 昌 隆	映像芸術研究家
	音 楽	松 村 紫 乃	高知県三曲協会会長
		坂 本 雅 代	高知県合唱連盟事務局長
		高 橋 輝 雄	高知県民謡協会会長
		上 本 竹 永	高知県吟剣詩舞道総連盟副理事長
	舞 踊	花 柳 昌 延	高知県日本舞踊協会会長
		伊 野 友 美 子	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所代表
	演 劇	吉 本 智 賀 子	劇団ゆまにて代表
		北 村 絵 理	NPO法人高知市こども劇場理事
	文 芸	島 総一郎	高知ペンクラブ事務局長
	華 道	立 石 一 有	高知県華道協和会理事
	能 楽	葛 目 雄 三	高知能楽会副会長
	市 展	濱 田 尚 川	高知市展代表委員長
	まんが	山 北 美 砂 子	高知漫画集団事務局
県立美術館	長 山 美 緒	高知県立美術館学芸員	
文化協会	高 橋 啓 継	高知市文化協会事務局長	
報 道	高知放送	小 松 健	高知放送報道制作局次長
	NHK	山 下 茂	NHK高知放送局放送部長
	高知新聞	内 川 雅 彦	高知新聞社学芸部長
	高知新聞企業	布 達 也	高知新聞企業事業局次長
	テレビ高知	和 田 敦 子	テレビ高知報道・技術センター部長(報道担当)
	さんさんテレビ	林 寛	高知さんさんテレビ業務推進局長

委員長 花柳 昌延

副委員長 高橋 輝雄 ・ 北村 絵理

監 査 上本 竹永 ・ 山北 美砂子

第64回高知市文化祭開幕行事

「土佐七色紙伝説 ~あなたという希望を胸に...~」

第64回 高知市文化祭開幕行事
高知市文化プラザかるぼーと開演10周年記念事業

どこなないあがみでんせつ

土佐七色紙伝説

あなたという希望を胸に...

脚本 北村唯吉
脚色・演出 吉本智賀子

2012 4月8日(日) 開場:午後1時30分
開演:午後2時
高知市文化プラザ かるぼーと [大ホール]

入場料 前売り 2,000円 当日 2,500円

チケット 高知市文化プラザかるぼーとミュージアムショップ・高新プレイガイド
販売所 高知県立美術館ミュージアム・高知大丸プレイガイド

主催・高知市文化祭執行委員会・高知市文化協会・劇団ゆまにて
主監・(株)高知市文化振興事業団・高知市教育委員会
後援・高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・NHK高知放送局
出演 劇団ゆまにて・高知市文化協会加盟団体・いの町在住小学生(神谷小・いの南小)・伊野おどりの会・伊野福の神音頭保存会

総計 83人

入場者 750人

©高知市文化祭 実行委員会 TEL:0985-883-5071

日 時	平成24年4月8日(日)	開場13:30~	開演14:00~
場 所	高知市文化プラザかるぼーと	大ホール	
入場料	2,000円		
主 催	高知市文化祭執行委員会・高知市文化協会・劇団ゆまにて		
主 管	公益財団法人高知市文化振興事業団・高知市教育委員会		
後 援	高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・NHK高知放送局		
出 演	劇団ゆまにて・高知市文化協会加盟団体・いの町在住小学生(神谷小・いの南小)・伊野おどりの会・伊野福の神音頭保存会		
入場者	750人		総計 83人

第64回 高知市展

開催日 平成24年5月26日(土)～6月10日(日)
 会場 高知市文化プラザかるぼーと 7階市民ギャラリーほか
 入場料 前売300円 当日400円 (50円割引のハガキを発行)
 鑑賞者 6,273名
 美術体感イベント「あなたダビンチ ぼくピカソ」
 6月3日(日)午後1時～4時
 前広場・公民館施設 (6部門6ブース・2部門2ブース)
 フリーパスポート 500円(441枚)



出品者・出品数・イベント参加者

部 門	出品者(前回)	出品数(前回)	北見市 交流作品	美術体感イベント 参加ブース名	参加者数
絵 画	97 (79)	113 (93)	4 (4)	「エコアート発見！」	1,600
日本画	31 (41)	37 (55)	3 (3)	「オリジナルうちわで 夏をすずしく」	240
書 道	112 (120)	112 (120)	10 (10)	「筆で遊ぼう」	900
先端美術	14 (22)	15 (23)			
彫 刻	31 (31)	42 (42)		「わたしも金メダル」	572
陶 芸	78 (71)	117 (102)	3 (3)	「粘土で 何ができるかな？」	232
工 芸	37 (35)	66 (52)			
写 真	64 (90)	107 (154)	11 (11)	「カメラマンに挑戦」	30
ペン字	94 (97)	95 (97)		「字は楽しく 書くのが一番」	282
デザイン	58 (55)	64 (60)		「キーホルダー作り」	580
合 計	616 (641)	768 (798)	31 (31)		4,436

第64回 高知市展 関連行事

講習会

彫刻講習会	〔 全身像・抽象コース 头像コース	2月28日～3月25日	全12回
		3月27日～4月29日	全16回
陶芸「一日作陶体験会」		4月1日	
絵画「木版画講習会」		4月15日～4月29日	全3回
デザイン「楽しい切り絵講座」		4月15日～4月22日	全3回
工芸	〔「カラフルなマーブル染め」 「ふくろうのレリーフ」	5月12日	
		5月12日	



研究会

書道作品研究会	5月27日・6月9日
絵画作品研究会	6月10日
写真作品研究会	6月10日
彫刻作品研究会	6月10日
陶芸作品研究会	6月10日
工芸作品研究会	6月10日



文化祭参加行事数・入場者数等集計表

部 門	行事数	入場者数	参加行事助成額	行事区分
映 像	6 (6)	600 (679)	150,000 (130,000)	共 催 5 名義共催 1
演 劇	8 (8)	3,199 (3,591)	357,400 (410,600)	共 催 5 名義共催 1 後 援 2
音 楽	19 (20)	7,084 (8,273)	1,007,600 (1,032,600)	共 催 17 特別共催 1 後 援 1
舞 踊	5 (8)	1,529 (2,645)	343,300 (443,300)	共 催 3 後 援 2
展 示	4 (4)	5,969 (6,776)	323,300 (323,200)	共 催 4
文 芸	3 (4)	598 (941)	200,000 (230,000)	共 催 2 委 託 1
その他	4 (4)	665 (680)	179,300 (180,300)	共 催 4
合 計	49 (54)	19,644 (23,585)	2,560,900 (2,760,000)	共 催 40 特別共催 1 名義共催 2 後 援 5 委 託 1

()内は前回の実績数

「その他」部門への文化祭参加興行映画の入場者数は、この集計には含まれておりません。

映像部門

行事名 「野菊の如き君なりき」映画上映会				
日・時	4月15日(日) 11:00～計5回			年配の観客が見終わった後、泣きながら帰る様子が見られました。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者	63人	
主催	小夏の映画会 / 田辺浩三			

行事名 シネマな夜VOL.146「ラビット・ホール」				
日・時	4月20日(金) 13:30～計5回			女優のニコール・キッドマン自身がプロデュースし、主演もしている力のこもった作品。 子どもを交通事故で亡くした夫婦の物語だが、近親者を亡くしたとき人はどういう心境に陥るのか、それをどう受けとめ対峙していけばいいのかという普遍的なテーマを、誠実に描き出している。 東日本大震災を経験した今、深く胸に残る秀作でした。
会場	県立美術館ホール	入場者	103人	
主催	シネマ・サンライズ / 吉川修一			

行事名 こうちコミュニティシネマ第77回上映会「ミラノ、愛に生きる」				
日・時	4月25日(水) 13:15～計4回			富豪一族の妻から、一人の女性として自立していく、現代版「人形の家」のノラのような主人公の生き方は、「年下のしかも息子の親友」との恋がきっかけ、というのが賛否両論だった。彼女の行動は、果たして希望に向かうのか、不幸を受け入れることになるのかは明かされないが、大変興味深く、映像も満足できるものであった。観客が予想外に少なく残念だった。
会場	県立美術館ホール	入場者	161人	
主催	NPOこうちコミュニティシネマ / 大西みちる			

行事名 「血斗水滸傳 怒涛の対決」映画上映会				
日・時	5月11日(金)・12日(土) 11:00～計8回			若い人に昔の日本映画の良さを見てほしかったのですが、客層はほとんど60歳以上で、この種の映画の上映会は、あと5年程で開催が困難になると思いました。予定していた絵看板の制作は、職人さんに無理だと断られ断念しましたが、黄昏キネマの作成した、戦後の高知市の映画興行の変遷の展示は、新聞にとりあげられたこともあり、好評でした。
会場	あたご劇場	入場者	80人	
主催	MOVIE JUNKY / 西川泉			

行事名 高知県ロケ映画「少年」+ ブラックコメディ「勲章」映画上映会				
日・時	5月13日(日) 11:00～計5回			高知ロケの映画ということで「少年」に、観客が反応し拍手することが予想外だった。 一方「勲章」は、昭和29年に再軍備を呼びかける元軍人達を皮肉に描写する内容だったが、あまりにもドタバタ喜劇だったので、実際に見て失望した。
会場	あたご劇場	入場者	150人	
主催	小夏の映画会 / 田辺浩三			

行事名 高知・民族文化映像研究所の映画をみる会第25期上映会 「チセアカラ われらいえをつくる」ほか				
日・時	6月17日(日) 13:30～15:45			江戸時代の民家の復旧工事を通して「17世紀の大工と息が通じた」と語る棟梁の言葉が印象に残る。祈りに始まり祈りに終わるアイヌの家づくりからは、生きとし生けるものへの深い念(おもい)に支えられた生き方をみた。「家づくり」を若い世代とともに実践する中村棟梁・菅野茂さんの姿に、姫田忠義民族文化映像研究所長が重なる上映会だった。
会場	蛸蔵	入場者	43人	
主催	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会 / 松吉恵子			

映像部門

行事名 「野菊の如き君なりき」映画上映会				
日・時	4月15日(日) 11:00～計5回			年配の観客が見終わった後、泣きながら帰る様子が見られました。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者	63人	
主催	小夏の映画会 / 田辺浩三			

行事名 シネマな夜VOL.146「ラビット・ホール」				
日・時	4月20日(金) 13:30～計5回			女優のニコール・キッドマン自身がプロデュースし、主演もしている力のこもった作品。 子どもを交通事故で亡くした夫婦の物語だが、近親者を亡くしたとき人はどういう心境に陥るのか、それをどう受けとめ対峙していけばいいのかという普遍的なテーマを、誠実に描き出している。 東日本大震災を経験した今、深く胸に残る秀作でした。
会場	県立美術館ホール	入場者	103人	
主催	シネマ・サンライズ / 吉川修一			

行事名 こうちコミュニティシネマ第77回上映会「ミラノ、愛に生きる」				
日・時	4月25日(水) 13:15～計4回			富豪一族の妻から、一人の女性として自立していく、現代版「人形の家」のノラのような主人公の生き方は、「年下のしかも息子の親友」との恋がきっかけ、というのが賛否両論だった。彼女の行動は、果たして希望に向かうのか、不幸を受け入れることになるのかは明かされないが、大変興味深く、映像も満足できるものであった。観客が予想外に少なく残念だった。
会場	県立美術館ホール	入場者	161人	
主催	NPOこうちコミュニティシネマ / 大西みちる			

行事名 「血斗水滸傳 怒涛の対決」映画上映会				
日・時	5月11日(金)・12日(土) 11:00～計8回			若い人に昔の日本映画の良さを見てほしかったのですが、客層はほとんど60歳以上で、この種の映画の上映会は、あと5年程で開催が困難になると思いました。予定していた絵看板の制作は、職人さんに無理だと断られ断念しましたが、黄昏キネマの作成した、戦後の高知市の映画興行の変遷の展示は、新聞にとりあげられたこともあり、好評でした。
会場	あたご劇場	入場者	80人	
主催	MOVIE JUNKY / 西川泉			

行事名 高知県ロケ映画「少年」+ ブラックコメディ「勲章」映画上映会				
日・時	5月13日(日) 11:00～計5回			高知ロケの映画ということで「少年」に、観客が反応し拍手することが予想外だった。 一方「勲章」は、昭和29年に再軍備を呼びかける元軍人達を皮肉に描写する内容だったが、あまりにもドタバタ喜劇だったので、実際に見て失望した。
会場	あたご劇場	入場者	150人	
主催	小夏の映画会 / 田辺浩三			

行事名 高知・民族文化映像研究所の映画をみる会第25期上映会 「チセアカラ われらいえをつくる」ほか				
日・時	6月17日(日) 13:30～15:45			江戸時代の民家の復旧工事を通して「17世紀の大工と息が通じた」と語る棟梁の言葉が印象に残る。祈りに始まり祈りに終わるアイヌの家づくりからは、生きとし生けるものへの深い念(おもい)に支えられた生き方をみた。「家づくり」を若い世代とともに実践する中村棟梁・菅野茂さんの姿に、姫田忠義民族文化映像研究所長が重なる上映会だった。
会場	蛸蔵	入場者	43人	
主催	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会 / 松吉恵子			

演劇部門(1)

行事名 「 ^{しゃかりき} シャカカ ハイスクール」				
日・時	3月31日(土)20:00～21:00 4月1日(日)14:00～15:00・18:00～19:00 計3回			劇団設立3年目の最初の公演は、初のミュージカルに挑戦。身体表現にこだわることで、ダンスの身のこなしが歌を上回るという、ミュージカルとしては珍しい結果になったが、シャカカらしい作品になったと思う。今後も枠にとらわれることなく新しいことに挑戦し、お芝居の楽しさを高知のお客様に伝えられるよう努力していきたいと思う。
会場	蛸蔵	入場者	237人	
主催	^{しゃかりき} シャカカ / 行正忠義			

行事名 高知市こども劇場低学年例会 人形劇団京芸公演「ウォートンとカラスのコンテスト」				
日・時	5月10日(木) 18:30～19:40			主人公ウォートンの明るさ、逆境でもあきらめずにいっしょうけんめいに立ち向かうひたむきさは、観ている子ども達にたくさんの知恵と勇気を与えてくれました。失敗ばかりのネヴィルや目の不自由なバイクとともに協力しあう友情も感じられたことと思います。土の下から森の中、そして空中へと、次から次へダイナミックに変化していく大型人形劇ならではの舞台でした。
会場	グリーンホール	入場者	349人	
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場 / 武市真寿美			

行事名 喜多流回雪臺高知粟谷会能楽大会				
日・時	5月13日(日) 11:00～16:00			天候にも恵まれ、大勢の方の来場があり、能・井筒から最後の番外仕舞まで熱心に観ていただき嬉しく思います。また、会員も精一杯演じることができたと思います。しかし、会員の高齢化と若い方の参加が少ないことにより、続けてゆけるか危惧されます。現会員は皆頑張って続けていきたいと思っています。
会場	県立美術館能楽堂	入場者	250人	
主催	喜多流高知粟谷会 / 岡部徳治			

行事名 高知市民劇場第296回例会 劇団俳優座公演「櫻の木坂四姉妹」				
日・時	5月17日(木)18:30～ 18日(金)12:30～ 19日(土)13:30～			劇団俳優座三大女優の大塚道子さん、岩崎加根子さん、川口敦子さんの競演が見事でした。長崎を舞台に被爆しながらも互いに支え合い、時にはぶつかりながらも生きる姿に大きな力をもらいました。様々な年代の俳優陣、作者、演出家他のスタッフのアンサンブルは俳優座ならではの、これからも全国をまわり感動を伝え続ける作品でした。ただ残念なのは会員が減ったことです。
会場	オレンジホール	入場者	1,855人	
主催	高知市民劇場 / 塩田正興			

行事名 高知市こども劇場高学年例会 佐々木梅治 芝居読み語り「父と暮せば」				
日・時	5月18日(金) 19:00～20:20			舞台装置や音楽はいっさいなく、舞台には1脚のイスと上手に1本の「彼岸花」があるのみ。1冊の台本を手に読み語る姿は、劇団民芸のベテラン俳優・佐々木梅治さんの役者としての力量を引き立たせるものでした。ご自身曰く、「僕のやっているのは全体の1割か2割。みなさんの想像力が8割から9割」。佐々木さんの肉声が観る人の感性とイマジネーションに強く迫った作品でした。
会場	かるぽーと小ホール	入場者	91人	
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場 / 武市真寿美			

行事名 第24回高知能楽会大会				
日・時	6月3日(日) 9:30～16:40			年々会員の芸は向上している一方平均年齢も高くなり、高齢のため退会する会員に対して若い新会員が少なくなっている現状である。また観客も少なくなる傾向にあるので、能楽を身近なものとして広めていく必要がある。
会場	県立美術館能楽堂	入場者	250人	
主催	高知能楽会 / 高橋胤臣			

演劇部門(2)

行事名				劇団とりあえず第3回公演「ありふれた恋のハナシ」		
日・時	6月21日(木)～24日(日)19:00～19:50 24日のみ14:00～14:50との2回公演 計5回			「今年もやります、ひとり芝居」と公言し、書き始めた台本。すると「ボクも出してほしい」という人が現れ、書き進めてみると2人芝居じゃちと物足りない。アベックのお客も登場させよう、ということで出演者4人の台本が仕上がりました。会場のユニークさ、出演者の多さが功を奏して、悪天候にもかかわらず思いの外たくさんのお客様でした。次回もやってほしいという声を多くいただきました。		
会場	喫茶 秦泉樹	入場者	90人			
主催	劇団とりあえず / 山北美砂子					

行事名				日本昔話を英語で楽しもう		
日・時	6月24日(日) 10:00～11:30			ラボ会員の子供達と指導者による「Riceball Roll おむすびころころ」(英語日本語)のテーマ活動劇で会が始まりました。小さなお子さんもしっかりと見ていました。全体を通して英語が自然に流れる中、異年齢の子供達の交流ができ、親子のコミュニケーションもたっぷりとれました。リーダーの子供達の成長の場ともなりました。今後もこのような場作りを続けていきたいと思えます。		
会場	東部健康福祉センター	入場者	77人			
主催	高知ラボ・パーティ / 岩本真理					

音楽部門(1)

行事名 第25回桂民謡会チャリティー民謡民舞の祭典				
日・時	4月14日(土) 11:30～16:30			入場者数もほぼ満足がいくもので、チャリティーの募金としても15万円弱を「土佐希望の家」に寄付することができ、会員一同喜んでいきます。
会場	グリーンホール	入場者	510人	
主催	高知桂民謡会 / 竹内懸一			

行事名 35周年記念高知おしどり会民謡発表会				
日・時	4月22日(日) 12:30～16:00			あいにくの雨で客足が心配されましたが、客席は満席。「民謡おしどり会」が1975年に結成されてから35年の歳月が流れました。今回の会は、民謡ブームだった当時を思い出すほどの盛況で、会場と一体となり、手拍子が途切れることなく終演を迎えました。また、記念の祝い餅投げでは全員総立ちで、お客様とともに35周年を祝うことができました。
会場	グリーンホール	入場者	550人	
主催	高知民謡おしどり会 / 高橋輝雄			

行事名 一絃琴わくら和遊紅会演奏会				
日・時	4月22日(日) 13:30～15:30			春の嵐のような天候でしたが、熱心な方々が思いの外たくさん来て下さいました。当会は一絃琴は1人で弾ずるものとの考えであり、独奏曲を多くしました。個性を出せ、曲がよく理解でき雰囲気も出てよかったと思います。また詩のない合奏では一音一音を大切に調和のある曲作りを心がけました。最後はお客様にも参加していただき、「荒城の月」を思いを込めて演奏しました。
会場	かるぽーと9階和室	入場者	43人	
主催	一絃琴わくら和遊紅会 / 松本遊紅			

行事名 土佐中・高等学校吹奏楽部第47回スプリングコンサート				
日・時	4月29日(日) 17:30～19:45			多くのお客様に来ていただいて無事成功することができました。準備が直前までかかってしまいましたが、公演当日は大きな問題はなかったと思います。来年は1500席満席を目指して、よりよい活動をしていきたいです。
会場	オレンジホール	入場者	1,070人	
主催	土佐中・高等学校吹奏楽部 / 川崎仁哉			

行事名 第69回詩吟剣詩舞春季大会				
日・時	5月6日(日) 9:30～17:00			会場はほぼ満席で活況のうちに終了することができました。しかしながら、参加者の大半は高齢者で、今後の継続に不安が残ります。伝統文化の伝承には、継続的な発展を図ることが大切だと思っています。行事隆盛に向けた支援に感謝申し上げますとともに、他の文化事業との連携を深め、高知市の文化振興に今後も取り組みたいと考えます。
会場	県立美術館ホール	入場者	480人	
主催	高知県吟剣詩舞道総連盟 / 柳瀬岳領			

行事名 青峰流至誠吟詠会創立五周年記念大会				
日・時	5月13日(日) 12:00～16:30			高知県吟剣詩舞道総連盟の会長はじめ、各流、各会派の先生方にご出席いただき、範吟、範舞で華を添えていただきました。今回は伴奏にシンセサイザー奏者を招き、CD・テープとは違う音色が響き、「至誠一貫」「声無くして人を呼ぶ」流是にふさわしい有意義な一日を堪能しました。これを契機に、会員一同次の節目に向かって努力してまいります。
会場	高知プリンスホテル	入場者	120人	
主催	青峰流至誠吟詠会 / 佐藤青絹			

音楽部門(2)

行事名 正曲一絃琴白鷺会演奏会				
日・時	5月19日(土) 13:00～15:00			今回の演奏は特に音色が素晴らしく、あらためて古典の良さを知りました。十三絃との合奏は練習の跡が見え、明るく元気をもらったと感想をいただきました。入場者が多く嬉しい限りでしたが、客席が足りず迷惑をかけてしまいました。今回の演奏会を励みに、土佐に根付いた一絃琴の保存、伝承に努めてまいりたいと思います。
会場	かるぽーと小ホール	入場者	207人	
主催	正曲一絃琴白鷺会 / 田中美智子			

行事名 秀鳳流日本吟詠会春季大会				
日・時	5月27日(日) 10:00～17:00			伝統文化の次世代への継承は、当会の最も期すること。この基となる芸道研鑽を主目的に、今回は独自の競演を行い、新しい試みとして合吟のトーナメント制コンクールを実施しました。会勢の繁栄を目指し、会員が思いきった発表ができ、一般の入場者を迎えて斬新であったと評価しています。
会場	高知プリンスホテル	入場者	120人	
主催	秀鳳流日本吟詠会 / 野中秀鳳			

行事名 第26回当道音楽会高知支部箏曲演奏会				
日・時	5月27日(日) 13:00～16:00			晴天に恵まれ、多くの観客に来ていただき感謝しています。この日に向けて、社中毎、一生懸命練習をしてきました。その成果が発表できたと思います。今後も会員一同、和をもち、協力して、地域の邦楽発展のため、少しでもお役に立ちたいと思います。
会場	県立美術館ホール	入場者	300人	
主催	当道音楽会高知支部 / 華蔭清美穂			

行事名 三曲演奏会				
日・時	6月3日(日) 13:30～16:00			ゲストに箏・三絃奏者服部恵美子・松村エリナ、尺八川俣夜山、打楽器佐藤秀嗣、琵琶榎本百香の各師をお招きし、多種類の楽器編成で親しみと充実感のある舞台となりました。ゲスト曲2曲、協会提曲2曲、会員提曲5曲の計9曲で、会員提曲には尺八合奏曲を含む新曲による構成で、ご来場の皆様には十分お楽しみいただけたと考えています。
会場	グリーンホール	入場者	291人	
主催	高知県三曲協会 / 松村紫乃			

行事名 第9回混声合唱団Pange定期演奏会				
日・時	6月9日(土) 18:30～20:30			組曲に当たる大きな作品2つに取り組みましたが、団員の意欲的な取り組みで細かいところまで詰めることができ、結果お客様にも満足していただける演奏になったと自負しています。また、今年は印刷物のデザインを高知大生に発注したことで、異ジャンルの人とふれあい両者ともに新鮮な刺激となったようです。今後もこういった広がりを模索できたらと考えます。
会場	県立美術館ホール	入場者	355人	
主催	混声合唱団Pange / 藤田貴子			

行事名 高知交響楽団第148回定期演奏会				
日・時	6月10日(日) 14:00～16:00			創立80周年に策定の中期目標に従い、ベートーヴェン交響曲シリーズの2回目として第2番を演奏。ベートーヴェンへの理解は深まったが技術面で課題が残った。後半のブルックナーは当団初の取り組みで、技術的には困難を極めたが、聴衆からの評価は上々であった。入場者は少なかったが、若い世代が目立ったことは、聴衆の多様化として将来への期待につながった。
会場	かるぽーと大ホール	入場者	574人	
主催	高知交響楽団 / 山下佳邦			

音楽部門(3)

行事名 邦楽器と洋楽器によるアンサンブルグループ「し～ずん」20周年記念コンサート			
日・時	6月15日(金) 19:00～21:00		20周年にふさわしく、ゲストでお迎えした台湾の徐宿瑛(シー・スーピン)さんのスケールの大きな曲「西楚霸王」、松居孝行さんは二胡で日本の歌を披露、お客様の反応も上々でした。これからは、若い演奏家の発掘、育成に携わり、演奏の機会を増やせるように力を尽くしていきたいと思っています。
会場	県立美術館ホール	入場者 386人	
主催	グループ「し～ずん」/門田綾子		

行事名 高知本條会ふるさと民謡民舞三味線発表会			
日・時	6月17日(日) 12:00～15:30		天候に恵まれてたくさんの方々に来ていただきました。先代の秀謡先生の跡を継がせていただきまして4回目となります。今回は、会場のお客様と一緒に楽しむよう企画いたしました。唄ったり踊ったり、客席と一体となり盛り上がりました。これからも三味線・唄を後世に残すよう努力いたしたいと思ひます。
会場	高知プリンスホテル	入場者 100人	
主催	高知本條民謡連合会 / 泉朋代		

行事名 第19回大正琴アンサンブルあじさい会発表会			
日・時	6月17日(日) 13:30～16:00		東日本大震災以降、会員同士の心の絆を大切に錬成した成果と、あじさい会の目指す大正琴を皆様に披露できたと思います。またブレイメン・サクソフォン・アンサンブルの皆様の演奏と、児童合唱団はまゆうのかわいひい歌声でいっそう盛り上げていただきました。また「命の基金」への募金にも協力をお願いしました。来年は20回目の節目、精進いたします。
会場	県立美術館ホール	入場者 400人	
主催	大正琴あじさい会 / 川島節子		

行事名 土佐一絃琴演奏会			
日・時	6月17日(日) 13:30～15:30		一絃琴の譜本は江戸期のもものが中心だが、昭和の奏者また現在活躍中の研究家のもも採用している。今回の「室戸の月」は当会の亡き師匠による土佐日記3部作のひとつで、他の2部も順次発表を考えている。全員での練習が不十分なことが反省点。恒例の唱歌の斉唱は、懐かしさや歌えた嬉しさ等の声が寄せられた。今後も日本人の心に訴える叙情性を大切にしたい。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者 50人	
主催	土佐一絃琴同好会 / 野崎温子		

行事名 第53回高知県合唱祭			
日・時	6月24日(日) 10:00～16:30		全26団体の参加でした。プログラムの選曲に各団の特色が反映され、まじめな演奏から笑いを誘う楽しい演出を加えた演奏までバラエティに富み、来場のお客様にも十分楽しんでいただけたようです。出演団体が多いことから、客席の割り振りとお客様の誘導が毎年課題となりますが、今年は天候(雨)の影響もあったのか、少し落ち着いた入りでした。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 792人	
主催	高知県合唱連盟 / 西本佳奈子		

行事名 高知マンドリン土曜日会第43回定期演奏会			
日・時	6月30日(土) 18:30～21:00		今年も多くの方々のご協力を得て無事に開催することができました。アンケート結果もおおむね好評だったと思ひます。今回は演奏時間が少し短かったのではないかとご指摘もあり、これからの構成に生かしていきたいと思ひます。これからもお客様に喜ばれるように楽しい音楽を演奏していきたいと思ひます。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 415人	
主催	高知マンドリン土曜日会 / 前田理絵		

音楽部門(4)

行事名 第34回高知ファミリーコーラス定期演奏会			
日・時	6月30日(土) 18:30~20:30		多くの方に合唱を楽しんでいただけるようにと、昨年以上にステージ構成に趣向を凝らし、演奏にも力を入れました。また宣伝にも力を入れ、集客も去年より増やすことができ、好評のお言葉を多くいただくことができました。無事に開催することができましたのも日頃から支えてくださっている方々、また会場で拍手をくださった聴衆の皆さまのお陰と、感謝の気持ちでいっぱいです。
会場	グリーンホール	入場者 321人	
主催	高知ファミリーコーラス/岡本雅弘		

展示部門

行事名				第9回映光会書作展 - 古典に親しむ -		
日・時	4月13日(金)～16日(月)10:00～18:00(最終日は16時)			今回は私達のテーマの原点に戻り「雅び」を主張してみました。一般に親しまれている物語や日記、随筆等の冒頭や和歌をわかりやすい心がけて表現してみました。NHK大河ドラマ「平清盛」のテーマ曲に使われている「今様」など、楽しんでいただけたと思います。次は記念の10回展。パラエティーあふれる作品展にしたいと思います。		
会場	高新画廊	入場者	492人			
主催	書道研究映光会 / 三浦映泉					

行事名				春のいけばな展		
日・時	4月27日(金)～29日(日)10:00～18:00(最終日は16時)			加盟21流派の協力で、大作15、普通作152、子供席に14作品を展示し、来場者に季節感を堪能いただいた。会員の高齢化が進み出瓶者の減少を考慮して、今回は会場のレイアウトの変更を断行した。明るさや雰囲気には反省すべき点が多く、今後の課題が残った。来場者からは、「会場が都会的」「作品が鑑賞しやすい」などの声もいただいた。全体としては、まずまずと考える。		
会場	かるぽーと7階第1・2展示室	入場者	3,163人			
主催	(社)高知県華道協和会 / 岩井寿夫					

行事名				春のばら展2012		
日・時	5月12日(土)・13日(日)10:00～18:00(最終日は16時)			天候不順により出品が昨年の約3割と少なく、入場者数も昨年の6割程度。会場での苗の販売・配布ができなくなったことに残念がる来場者も多く、ばら普及のために購入先を紹介することで対応した。9賞の表彰のほか一般投票部門では多数の票が集まり、栽培相談コーナーも活発で全体的に盛況であった。来年は出品数増加のため栽培者に広く啓発していく。		
会場	かるぽーと7階第4展示室	入場者	614人			
主催	高知ばら会 / 森岡清					

行事名				第36回さつき花季展覧会		
日・時	5月24日(木)～27日(日)9:00～17:00(最終日は16時)			今年は展覧会の日程が、牧野富太郎博士生誕150年・花絵巻の期間内にあたり、例年より多くのお客様で賑わいました。さつき盆栽は年々の樹格向上で、花の美しさ、盆栽の立派さ等、訪れた方々は大変満足されたようです。会員の技術向上を考え、2年後を目処にして勉強木コーナーを設ける計画です。		
会場	県立牧野植物園	入場者	1,700人			
主催	高知県さつき愛好会 / 斎藤俊和					

舞踊部門

行事名 藤間流かおる会「春のおどり」				
日・時	4月1日(日) 11:00～15:30			門下生も高齢化が進みましたが、皆元気いっぱい頑張りました。お客様の声援もたくさんいただき、和気あいあいと楽しいひとときを過ごしました。「夏のおどり」に向けて、また皆で頑張ります。
会場	グリーンホール	入場者	400人	
主催	藤間流かおる会 / 藤間香緒瑠			

行事名 第40回内山時江ダンスシアター ア・ナ・タ Part7「必要ではないこと」				
日・時	5月19日(土) 18:00～19:10 20日(日) 15:00～16:10			「必要ではないものを買わせようとする今の世の中、そして買いすぎて捨ててゴミの山。人もヒトとして本当に大切にされているのだろうか？私は本当に必要な人間だろうか？と鋭く問いかける風刺のきいたモダンダンスでした。静と動を対立させてはったり、笑いもあつたりと大変見応えのある作品」という評価をいただきました。40周年にふさわしい作品になったと思いました。
会場	内山時江モダンバレエスタジオ	入場者	121人	
主催	内山時江モダンバレエ研究所 / 内山時江			

行事名 土佐ふじ和流おさらえ会				
日・時	5月20日(日) 12:00～16:00			老人クラブの方や地域の方、私達の踊りのファンの方々と、最後の演し物の時は満員となりました。糸竹会の方とのコラボの鳴子踊りでは、ムードも最高になって、無事に千秋楽となりました。来年もこの会場で開催してほしい、との声も多かったです。
会場	弥右衛門ふれあいセンター	入場者	180人	
主催	土佐ふじ和流 / 竹村美和			

行事名 第57回白鷺おどり				
日・時	5月27日(日) 11:00～13:30			白鷺おどりは常に門戸を広げ新しい人材を育ててゆく場として57年間継続してまいりました。本年は各方面の行事と重なり観客が少なめになりましたが、それぞれ力強く精魂込めた演目を発表でき、成果ある舞踊会となりました。品格ある伝統文化としての日本舞踊が次の世代にも受け継がれてゆくよう、「白鷺おどり」の場を大切に守り継続してゆく所存です。
会場	かるぽーと大ホール	入場者	700人	
主催	高知県日本舞踊協会 / 花柳昌延			

行事名 高知社交ダンス愛好会演技発表会				
日・時	6月10日(日) 13:00～16:00			入場者は例年とほぼ同じだが発表会参加者が近年で一番多かった。内容は年々向上し、特に80歳以上の4組は技術的に若い人に勝るものでした。参加者が増えたことで時間を超過するといった運営面の不手際があり次への参考になりました。今回は高齢者が多く、来年からはダンス界の高齢者対策を修正しなければならぬと考えています。
会場	旭文化センター	入場者	128人	
主催	高知社交ダンス愛好会 / 尾崎比佐子			

文芸部門

行事名 第42回総合文芸展			
日・時	5月8日(火)～13日(日) 10:00～17:00(最終日は16:30)		短歌、俳句、詩、川柳、小説、エッセー、まんが、イラストなど全文芸ジャンルの作品約70点を展示しました。高知ペンクラブ会員はもとより、一般の方々も参加し、全国的にもユニークな文芸展となりました。来年も文芸展をいっそう充実させ、文芸意識の啓発を図りたいと思います。
会場	かるぽーと第5展示室	入場者 400人	
主催	高知ペンクラブ / 高橋正		

行事名 第41回高知県俳句大会			
日・時	5月27日(日) 9:00～17:00		投句目標1500句に対し、1105句の実績には反省しつつ、会員全体の高齢化を考えるとやむを得ない面もある。その点、昨年の参加者98人に対し今年95人の参加は、相応と見るべきかもしれない。ねんりんピックリハーサル大会としての成功を収め、来年10月の本番に向かって気運は盛り上がっている。
会場	高知男女共同参画センター「ソール」	入場者 95人	
主催	高知県俳句連盟 / 植田紀子		

行事名 平成24年度帆傘川柳大会			
日・時	6月24日(日) 10:30～17:30		前年度から会場を変更した結果不満が改善されて、今年度は好評だった。大阪・香川・愛媛・徳島からの遠来の出席者と、県内も安芸から大月町まで幅広い人達の参加があったことがよかった。運営はスムーズに進行し、予定時刻どおりに終了した。選者は県外3名、県内5名、ともに充実した選であった。
会場	高知会館	入場者 103人	
主催	帆傘川柳社 / 小笠原望		

その他

行事名 香を楽しむ			
日・時	5月13日(日) 10:00～12:00・13:00～15:00		
会場	寺田寅彦記念館	入場者	73人
主催	香道古心流土佐伽羅の会 / 藤本淑峰		

天気に恵まれたたくさんの方にご来席いただいた。今回は残花香をしました。男性の参加も3名あり、和と音楽の調和を感じたと感想を述べられた。日常と違う空間に身を置き、伝統文化の持つ優雅さにひかれると満面の笑みで答えられる方もいて、香の楽しさを少しでも伝えることができたのかと思います。今後も多くの方に香道の体験をしていただけるように努力してゆきたいと思います。

行事名 第38回高知市教育長杯かるた大会			
日・時	6月24日(日) 9:00～15:30		
会場	南部健康福祉センター	入場者	21人
主催	高知かるた会 / 吉本健二		

本県では学校にかるた部が存在しなかったことや指導者の少ないことから、特に小中高校生の競技人口が減少し、同時に高齢化も進んでいる。この現状に危機感を持ち、小中高校生に競技かるたを通して日本の古典文化の一つである百人一首に触れる機会を作るよう、大会を毎年開催している。引き続き大会の開催を通して、競技かるたの普及と競技者の育成に努めていきたい。

行事名 第16回三里友の会文化祭			
日・時	5月20日～6月24日 全4行事		
会場	三里文化会館	入場者	571人
主催	三里文化推進友の会 / 土居正治		

参加グループの高齢化により、開催が毎年危ぶまれる中、一丸となった頑張りで例年以上の観客動員となりました。また来年につきましては同じような不安がありますが、皆で力を合わせ「三里文化祭」の灯を消さないように努力精進したいと思います。

行事名 参加興行映画			
日・時	3月31日～6月14日 全4作品		
会場	TOHOシネマズ高知	入場者	6,252人
主催	高知県興行生活衛生同業組合 / 友永雄一		

文化祭に相応しい作品として、日本映画「HOME 愛しの座敷わらし」(4/28～6/1)、「わが母の記」(4/28～5/31)、外国映画からは、「ヘルプ 心がつなぐストーリー」(3/31～4/27)、「ファミリー・ツリー」(5/18～6/14)の計4本を参加作品とした。